



特許 第1438822号

赤ちゃん医学から生まれた

Aprica

ダブル ミニ ニュー WなMini アイtoアイ サーモ・Wサーモ

取扱説明書／保証書



- ・この製品は生後1月から24月までの乳幼児1人用乳母車(ベビーカー)です。
- ・ご使用になる前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、本書は必ず保管してください。
- ・取り外してある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。

もくじ

ご使用まえに	①	便利な機能	19～20
SG基準について	①	ハンドルの切替え方	19
ご使用上の注意	①～④	ハンドルの角度調節	19
警告	②～③	カゴの使い方	20
注意	④	ショルダーストラップの使い方	20
禁止事項	④	ベビーカーを折りたたむ時	21～22
各部の名称	⑤～⑥	ベビーカーの折りたたみ方	21～22
製品の特徴	⑤	縫製品のお手入れ	23～29
本体と付属品の名称	⑤～⑥	日除けの取り外し方	23
ベビーカーを開く時	⑦～⑧	フロントガードカバーの取り外し方	23
ベビーカーの開き方	⑦～⑧	カゴの取り外し方	24
ストッパーの使い方	⑧	縫製品の取り外し方	25～28
キャストの使い方	⑧	〈背面ベンチレーションタイプ〉	25～26
お子さまを乗せる時	⑨～12	〈背面・側面/背面・側面・座面ベンチレーションタイプ〉	27～28
お子さまの乗せ方	⑨～10	縫製品の洗浄方法	29
肩ベルトの取り付け方	11～12	車体のお手入れ	30～31
パッドの取り付け方	13～14	車体のお手入れ方法	30～31
お子さまが快適にすごせるために	15～18	シリコンオイルの取り扱い上の注意	31
足カバーの使い方	15	点検とアフターサービスについて	32
日除けの使い方	15	当社連絡先	32
おりがみDX	16	保管のしかた	32
おりがみHiDX	17	廃棄方法	32
サーモメディカルシステムについて	18	SGマークについて	33
		保証書	34

ご使用まえに

赤ちゃんは、大人の縮小版ではありません。
特に新生児期を過ぎて首が座るまでの赤ちゃんは未熟です。

赤ちゃんのことをよく理解しベビーカーの使用は注意してください。

- ①常に赤ちゃんの様子に気を付け、連続使用は避けましょう。
- ②赤ちゃんに直射日光が当たらないように注意しましょう。お母さんが感じるよりベビーカー内の温度は高くなります。
- ③騒音や浮遊粉塵の多い人込みは避けましょう。
- ④段差の通過は出来るだけ静かに、振動・衝撃のかかる道などは避けましょう。




SG基準について

・SGマークが表示されたベビーカーは、製品安全協会の規定で定められた、つぎのような基準を満たしています。(この製品は、SG安全基準A形合格品です。)

	A形	B形
適用範囲	1月以上24月以内(新生児期(生後1月まで)を過ぎたまだ首が座らない乳児の寝かした状態での使用から、最高24月まで。)	7月以上24月以内(自身の手で身体を支えることなく、ひとり座りできる乳幼児(標準として7月)から、最高24月まで。)
使用範囲	生後1月～24月まで	生後7月～24月まで
望ましい連続使用時間	寝かせた姿勢 2時間以内 座らせた姿勢 1時間以内	1時間以内
背もたれ角度	150°以上	110°以上
車輪の外径	115mm以上	115mm以上
耐振動衝撃性	10m/S ² 以下(ダミー腹部位置)	10m/S ² 以下(ダミー腹部位置)

ご使用上の注意

・「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、「禁止」の表示と共に大変重要な内容です。必ず守ってください。

表示	表示の内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
 禁止	絶対してはいけない内容です。

警告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

 警告 (けいこく)	
 	かならず必ずシートベルトを締めて使用すること。
 	こしベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり転倒や落下のおそれがあります。腰ベルトはお子さまの成長に合わせて調節してください。
 	ベビーカーの中でお子さまを立たせない。
 	お子さまを乗せるときや降ろすときは必ず車輪ストッパーを左右共ロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。
 	お子さまや荷物を乗せた時には、ストッパーを過信しない。(構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。)
 	お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れない。
 	ふたり二人のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。

お子さまが落ちけがをするおそれがあります。

坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒し、お子さまがけがをするおそれがあります。

ベビーカーが転倒してお子さまが落ちけがをするおそれがあります。

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

警告 (けいこく)	
	<p>お子さまを乗せている時、カゴ以外のところに荷物を乗せたり、つるしたり、ハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけない。</p>
	<p>階段やエスカレーターなど段差のあるところでは使用しない。</p>
	<p>お子さまを乗せたまま持ち上げない。</p>
	<p>お子さまを乗せる前に左右の開閉ロックが完全に下まで降りている事を確認する。</p>
	<p>必ずセーフティロックをかけた上で使用する。</p>
	<p>肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込んで使用する。</p>
	<p>空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。</p>
	<p>夏季の晴天日中などは路面の影響によりベビーカー内の温度は高くなるので、長時間の使用は避ける。</p>

ベビーカーが転倒してお子さまが落ちけがをするおそれがあります。

お子さまが落ちけがをしたり、ベビーカーが折りたたまれ挟まれるおそれがあります。

お子さまの首にベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。

注意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

注意 (ちゅうい)
<ul style="list-style-type: none"> ・ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。 ・2台のベビーカーを連結して使用しない。 ・前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。 ・お子さまにベビーカーを操作させない。 ・ベビーカーの開閉などの操作時には、お子さまを廻りに近づけない。 ・ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方(時速約4キロメートル位の速さ)で押す。 ・体重20kg以上のお子さまを乗せない。 ・路面の状態、構造・機能上、耐久性などから、ストッパーを過信しない。構造上、自動車のパーキングブレーキのような安全なものではありません。 ・フロントガードを通しての使用はしない。股ベルトがやぶれる原因になります。 ・ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。可動部や回転部に砂などが入り開閉できなくなります。 ・フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。 ・踏切では、線路に車輪がとられないように注意する。 ・バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。 ・電車の中での使用について。本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。 ・雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。 ・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。 ・そのほか、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

禁止事項

・次のようなことは絶対にしないでください。

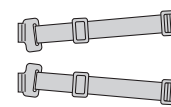
禁止 (きんし)	
<ul style="list-style-type: none"> ・当社サービス員以外の分解・組立・改造。 ・シートをはずした状態での使用。 ・アームレスト、フロントガードに荷物を乗せての使用。 ・保護者が、アームレストやフロントガードに腰を掛けること。 ・急激に力を加えたり、落下させた後の使用。 ・そのほか、お子さまを乗せる以外の目的での使用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネジやナットなどをはずしての使用。 ・荷物などの運搬のための使用。 ・お子さまの遊び道具としての使用。

各部の名称

製品の特徴

- ・フレームには軽量なアルミパイプを使用しています。
- ・前後左右折りたたみ方式です。
- ・前輪はキャスター付です。
- ・ハンドルは背面、対面式です。
- ・車体を折りたたんだ状態で自立します。

付属品



肩ベルト



ショルダーストラップ

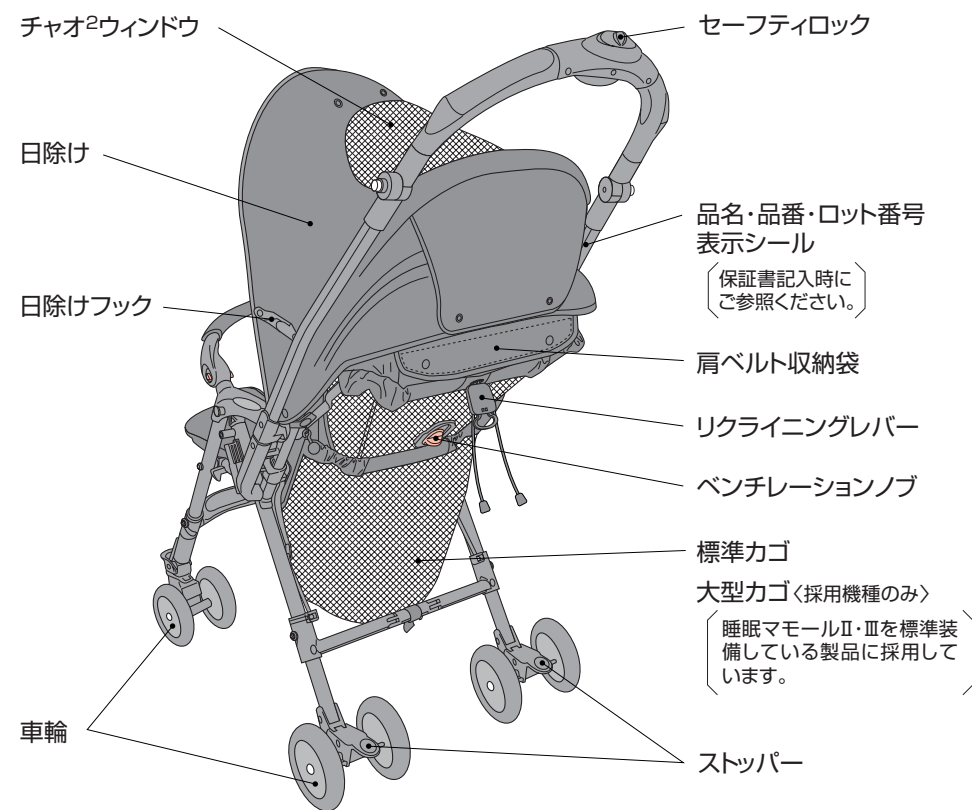
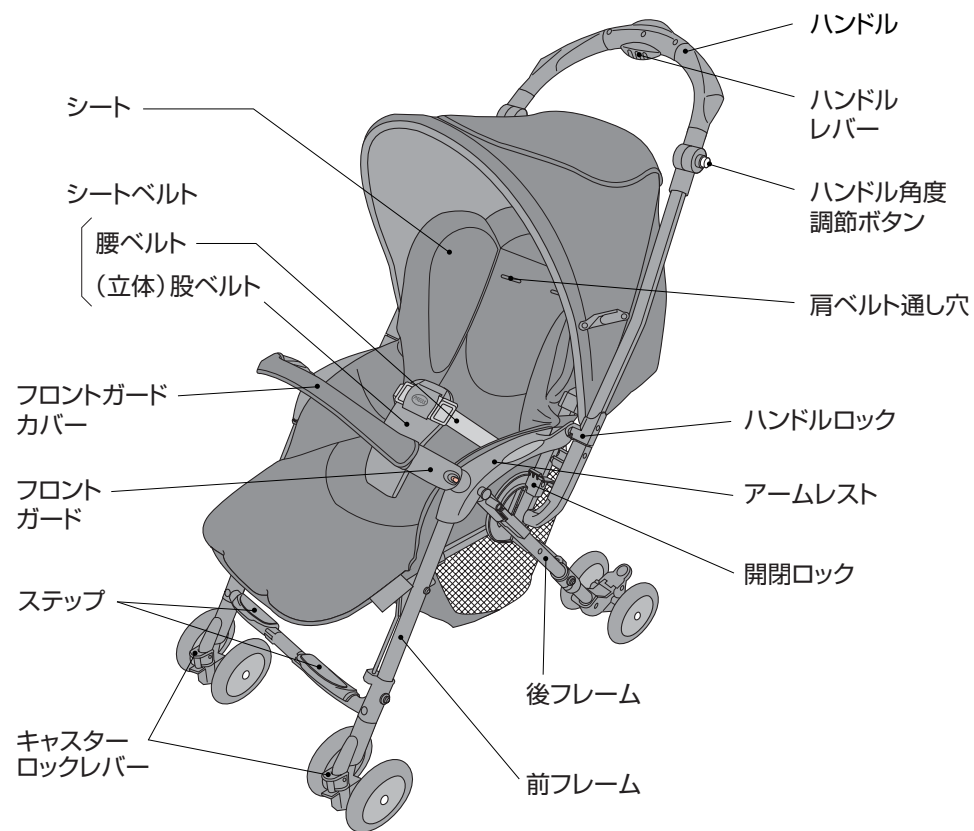


シリコンオイル

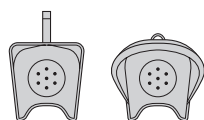


取扱説明書(本書)

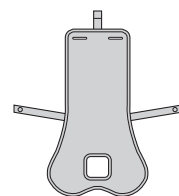
本体と付属品の名称



気道閉塞マモールパッド
<採用機種のみ>



背中快適さらっとシート
<採用機種のみ>



腰・首やわらかパッド
<採用機種のみ>



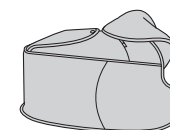
腹式呼吸安定パッド
<採用機種のみ>



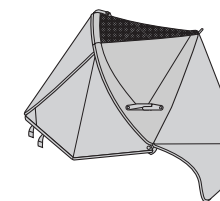
立体成長股ベルトS
<採用機種のみ>
(2段階調節式)



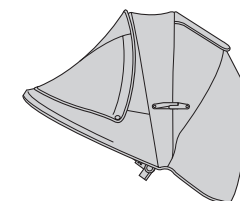
足カバー
<採用機種のみ>



おりがみDX
<採用機種のみ>



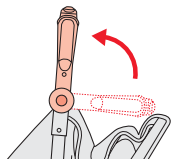
おりがみHiDX
<採用機種のみ>



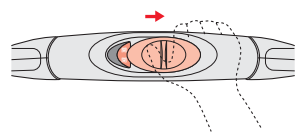
ベビーカーを開く時

ベビーカーの開き方

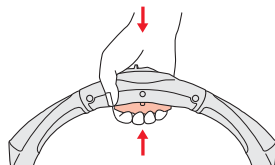
1 ロックの解除



①左右のハンドル角度調節ボタンを押した状態でハンドルを起こします。(ハンドルをハンドルパイプと一直線にします。)

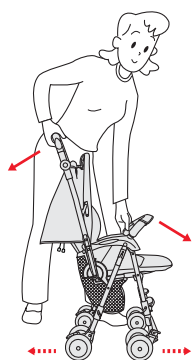


②セーフティロックを解除します。

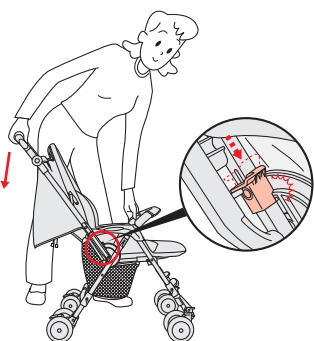


③車輪を地面につけたままハンドルを軽く下に押し付けながらハンドルレバーを握って押し込み、ロックを解除します。

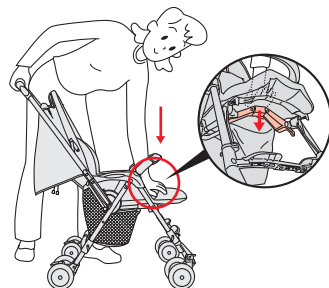
2 A 両手で開く場合



①ハンドルレバーを握ったまま、もう一方の手でフロントガードをつかんで開きます。



②握っていたハンドルレバーをはなし、ハンドルを下に押しつけるとロックされます。

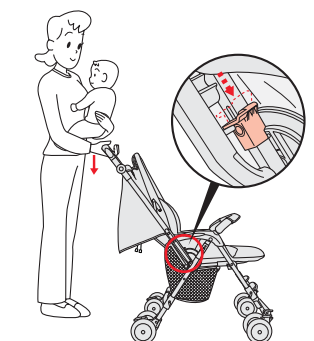


③座席を押さえて、座席下のバーを伸ばします。

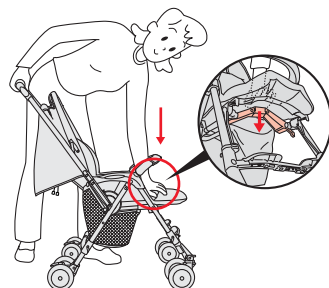
2 B 片手で開く場合



①ハンドルレバーを握ったまま車輪が地面より離れるまで持ち上げ、開きます。

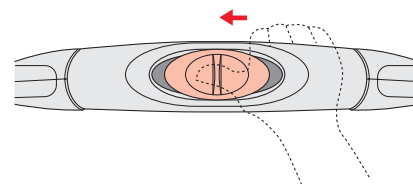


②握っていたハンドルレバーをはなし、ハンドルを下に押しつけるとロックされます。



③座席を押さえて、座席下のバーを伸ばします。

3 セーフティロックをかける

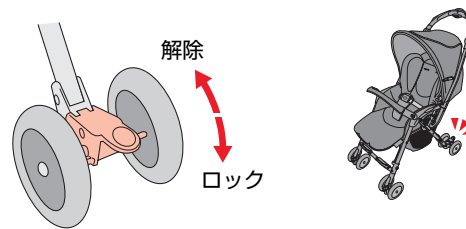


●セーフティロックを中央位置に戻します。

お願い

- ・ロックが完全にかからない時や、セーフティロックが右に戻せない時は、もう一度②の操作を確実に行ってください。
- ・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

ストッパーの使い方

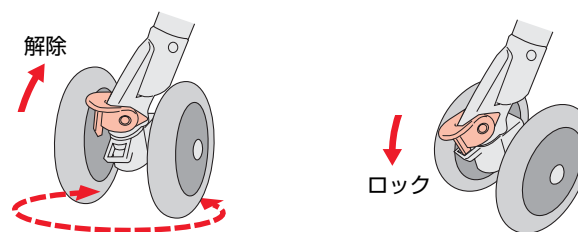


●お子さまや荷物を乗せていない時に、ベビーカーから離れる場合は、後輪のストッパーを左右共ロックします。(お子さまや荷物を乗せている時はベビーカーから離れないでください。)

警告

・お子さまや荷物を乗せた時には、ストッパーを過信しない。構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。

キャストターの使い方



●平坦な道路での走行時には、キャストターロックを左右共解除します。(車輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。)

●凸凹道、坂道、傾斜地などでの走行には、キャストターを進行方向と逆側で左右共ロックする。

お願い

・折りたたむ時は、左右共キャストターをロックしてください。

注意

・進行方向側で車輪をロックしないでください。

警告

・凸凹道、坂道、傾斜地などでの走行には、キャストターを左右共ロックする。キャストターの向きにより車輪が回転せず、ベビーカーが転倒したり、お子さまが落ちけがをするおそれがあります。

凸凹道、坂道、傾斜地などでのキャストターのロック方向

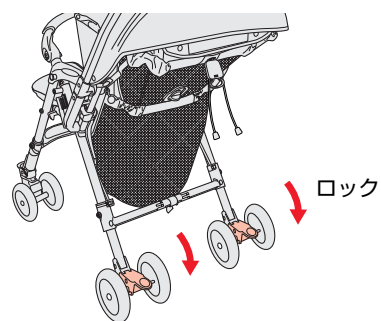
背面走行	対面走行
<p>進行方向 ←</p> <p>ロック ○</p>	<p>進行方向 ←</p> <p>ロック ○</p>
<p>進行方向 ←</p> <p>ロック不可 ×</p>	<p>進行方向 ←</p> <p>ロック不可 ×</p>

※ハンドルの切替え方はP19を参照してください。

お子さまを乗せる時

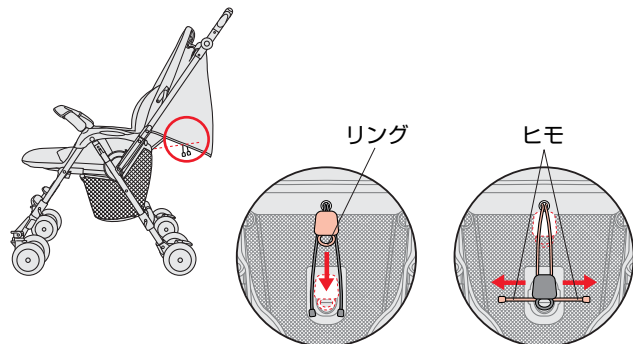
お子さまの乗せ方

1 後輪ストッパーをロックする



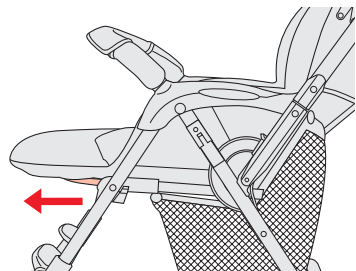
●左右の後輪をロックします。

2 リクライニングの角度を調節する



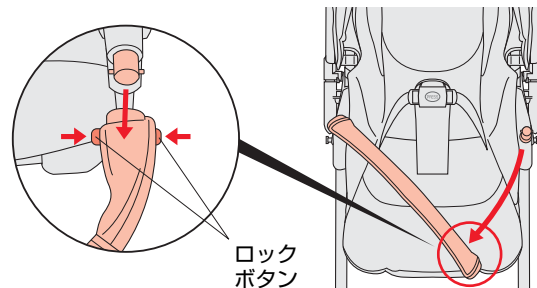
●倒す時はリングを下に引きます。 ●起こす時はヒモを左右に引きます。

3 足のせを引き出す



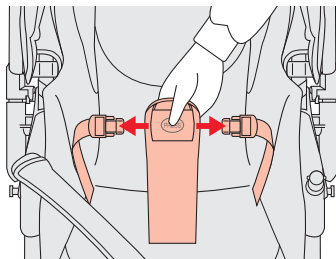
●左右のバーを持って手前に引き出します。(座席の延長として足のせを使う場合のみ)

4 フロントガードを開く



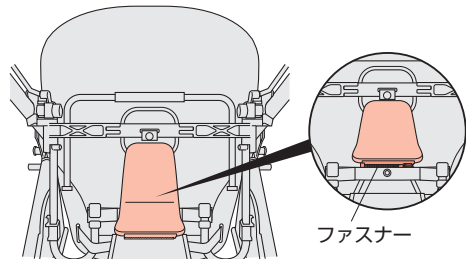
●内外のロックボタンを押してフロントガードを開きます。

5 腰ベルトを外す



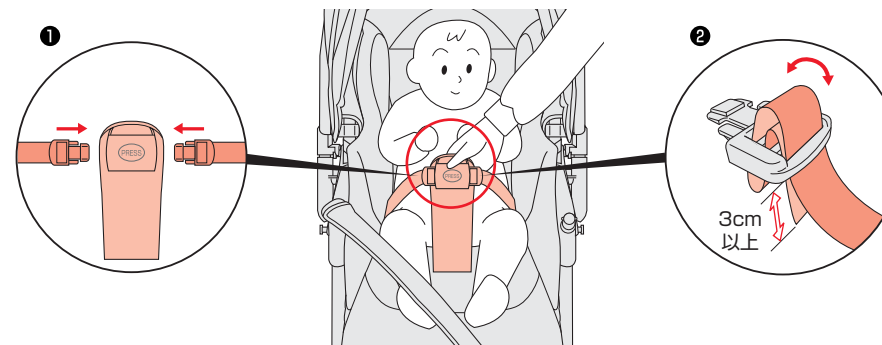
●股ベルトの「PRESS」部を押して腰ベルトを外します。

6 立体成長股ベルトの調節〈採用機種のみ〉



●シート裏側のファスナーを外して股ベルトの取り付け位置を調節してファスナーを取り付けてください。
※お子さまの成長に合わせて2段階に調節できます。

7 腰ベルトをとめる



①お子さまを乗せて、腰ベルトを股ベルトのバックルに差し込みます。
②腰ベルトの長さを調節します。(腰ベルトの長さは腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。)

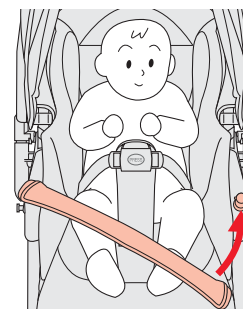
警告

・腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり転倒や落下のおそれがあります。腰ベルトはお子さまの成長に合わせて調節してください。

注意

・腰ベルトの末端の出しろ(⇔部分)は必ず3cm以上残す。

8 フロントガードを閉じる

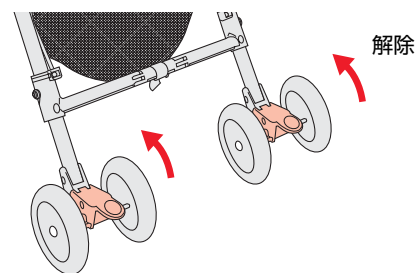


●フロントガードを閉じます。

警告

・お子さまの指をつめないよう注意してください。

9 後輪ストッパーを解除する



●ベビーカーを押すときには、後輪のストッパーを左右共解除してください。

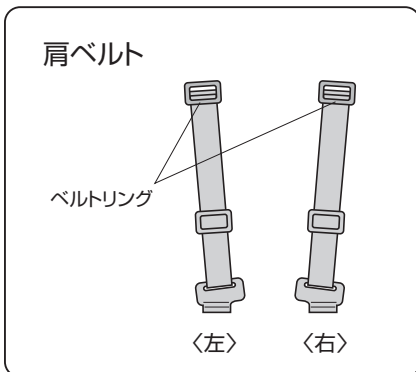
お子さまを乗せる時

肩ベルトの取り付け方

※首・腰の座ったお子さま（生後約6ヶ月以降）には、肩ベルトを使用してください。
 ※首・腰の座っていないお子さま（生後約6ヶ月未満）及び、ベッド状態では肩ベルトを使用しない。

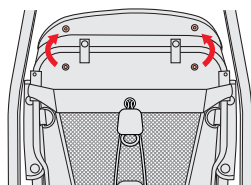
注意

- ・肩ベルトをねじれた状態で使用しない。
- ・肩ベルトを左右交差して使用しない。
- ・リクライニング角度を調節するたびに肩ベルトを調節してください。
- ・肩ベルト使用時、気道閉塞マモールパッドは使用できません。



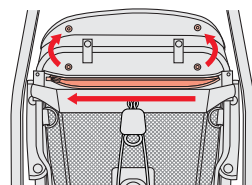
1 肩ベルトをシートに取り付ける

＜採用機種のみ＞

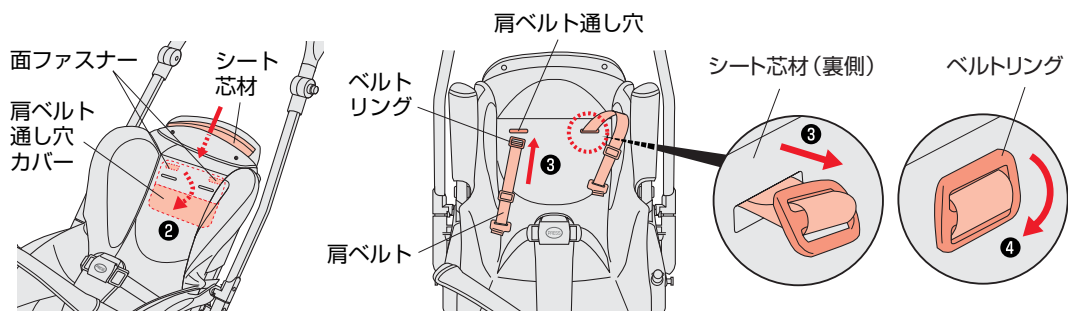


①シート裏側のホックを外します。

＜採用機種のみ＞



①シート裏側のホックを外し、ファスナーを開きます。

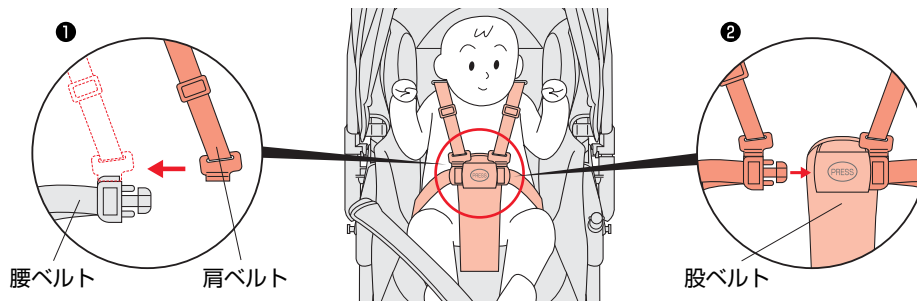


- ②シート内側の肩ベルト通し穴カバーの面ファスナーを外し、開きます。
- ③肩ベルトのベルトリングをシートの肩ベルト通し穴に通します。
- ④シート芯材の裏側でベルトリングを立てて固定します。
- ⑤シート裏側のホックをとめます。＜採用機種のみ＞
- ⑥シート裏側のファスナーを閉じ、ホックをとめます。＜採用機種のみ＞

警告

・肩ベルトをシートに取り付けた後、シート前方から肩ベルトを引っばって抜けないか必ず確認してください。

2 肩ベルト・腰ベルトをとめる

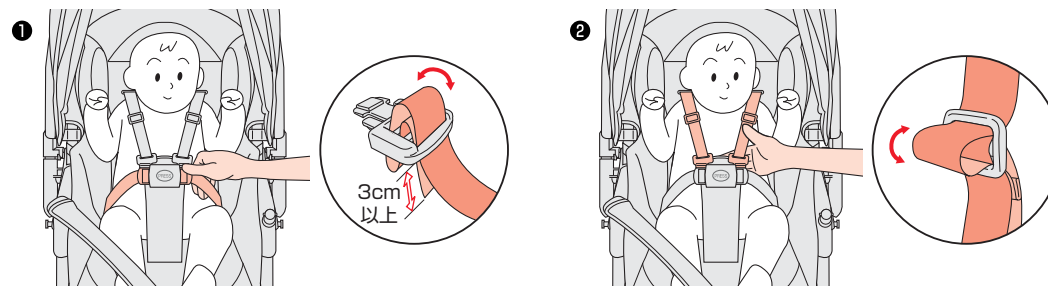


- ①お子さまを乗せて、肩ベルトを腰ベルトに差し込みます。
- ②腰ベルトを股ベルトのバックルに差し込みます。

警告

・肩ベルトをフリーにさせない。肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込んで使用してください。肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。

3 腰ベルト・肩ベルトの調節



- ①腰ベルトの長さを調節します。（腰ベルトの長さは腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。）
- ②肩ベルトの長さを調節します。（肩ベルトの長さは肩ベルトとお子さまの間に大人の指が1本入る程度まで締めます。）

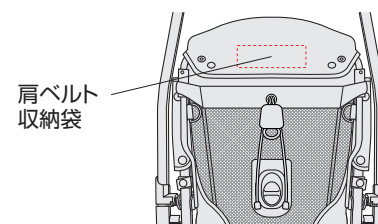
警告

・腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり転倒や落下のおそれがあります。腰ベルトはお子さまの成長に合わせて調節してください。

注意

・腰ベルトの末端の出しろ（⇔部分）は必ず3cm以上残す。
 ・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルトを調節してください。

肩ベルトを使用しない時



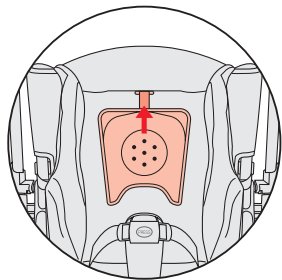
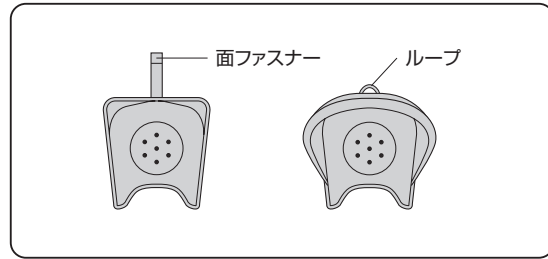
- 肩ベルトを使用しない時は、肩ベルト収納袋に収納して、肩ベルト通し穴カバーの面ファスナーをとめて閉じてください。

パッドの取り付け方

・パッドはベッド状態で使用して、サイズが合わなくなった時は、取り外してください。

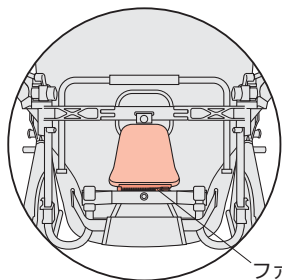
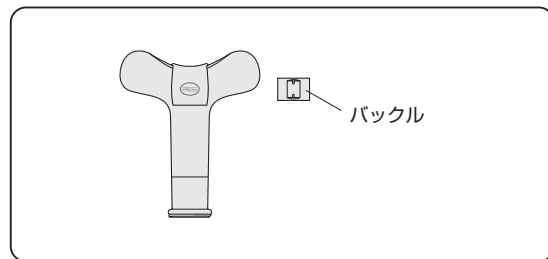
△注意 ・気道閉塞マモールパッド使用時、肩ベルトは使用できません。

気道閉塞マモールパッド〈採用機種のみ〉



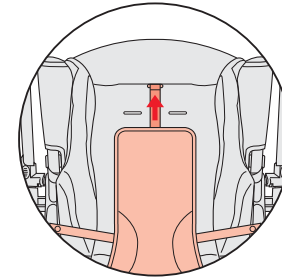
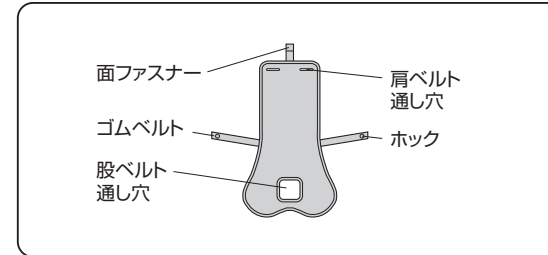
●シートのパッド取り付け穴に気道閉塞マモールパッドの面ファスナーを差し込み、とめます。

腹式呼吸安定パッド〈採用機種のみ〉

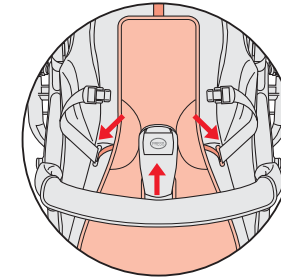


●腹式呼吸安定パッドをシートの股ベルト通し穴に通し、座面の裏側からファスナーで取り付けます。

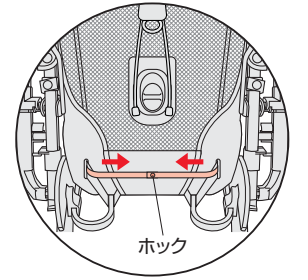
背中快適さらっとシート〈採用機種のみ〉



①背中快適さらっとシートの面ファスナーをシートのパッド取り付け穴に差し込み、とめます。



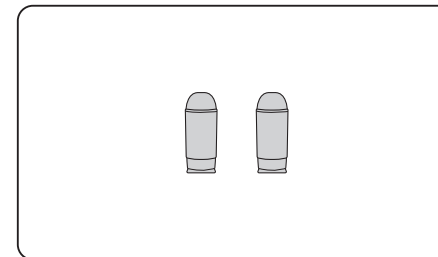
②股ベルトを股ベルト通し穴に、ゴムベルトをシートの腰ベルト通し穴に通します。



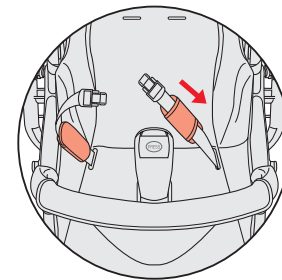
③ゴムベルトのホックをシート背面でとめます。

※気道閉塞マモールパッドと背中快適さらっとシートを使用する時は、背中快適さらっとシートの面ファスナーを気道閉塞マモールパッドのループに通してから取り付けてください。
 ※肩ベルトと背中快適さらっとシートを使用する時は、肩ベルトを背中快適さらっとシートの肩ベルト通し穴に通してから取り付けてください。

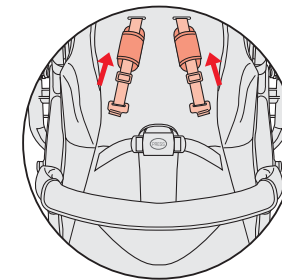
腰・首やわらかパッド〈採用機種のみ〉



※ベッド状態では肩ベルトを使用しない。



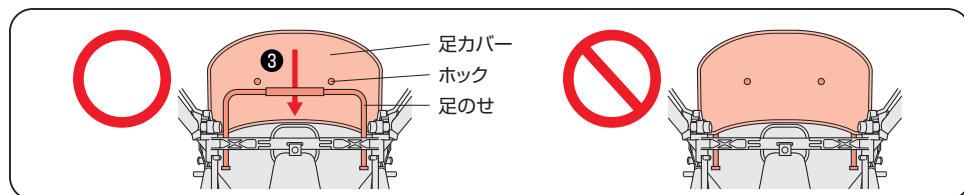
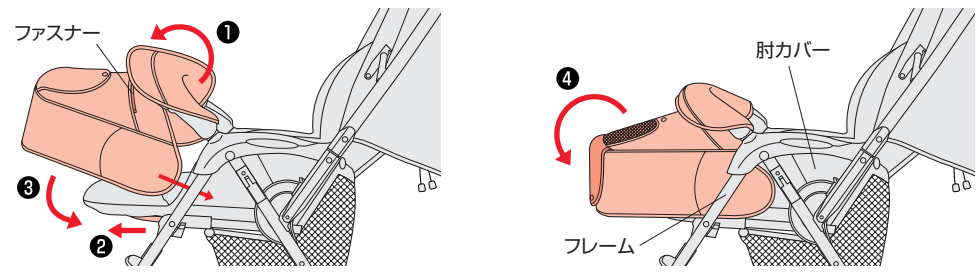
●股ベルトからバックルを外し、腰・首やわらかパッドを腰ベルトに通します。



●肩ベルトを取り付け、腰・首やわらかパッドを肩ベルトに通します。

お子さまが快適にすごせるために

足カバーの使い方〈採用機種のみ〉

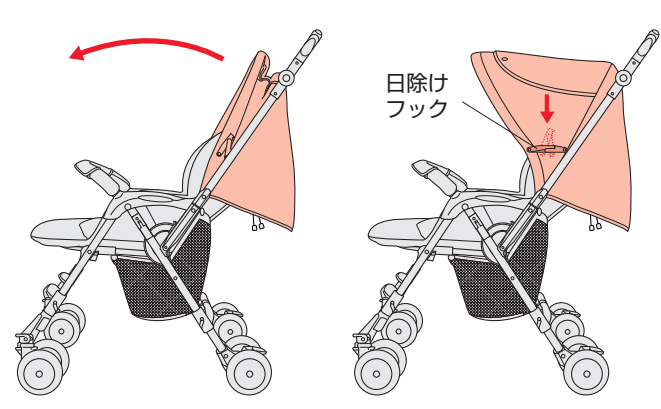


- ①足カバーをフロントガードに巻き付けファスナーをとめます。
- ②足のせを引き出します。
- ③足カバーの底部をシートと足のせの間に差し込み、ホック(2カ所)をとめます。
- ④足カバーの上部のホックを外し、カバーをめくります。

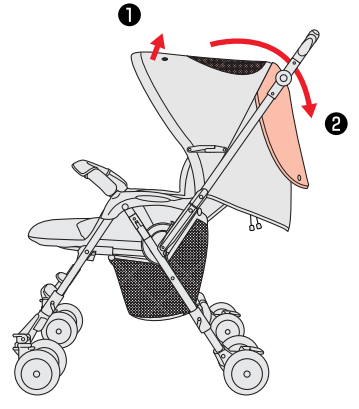
注意 ・ベビーカーの開閉後は、足カバーがフレームと肘カバーの間に差し込まれていることを確認する。

日除けの使い方

チャオ² ウィンドウ

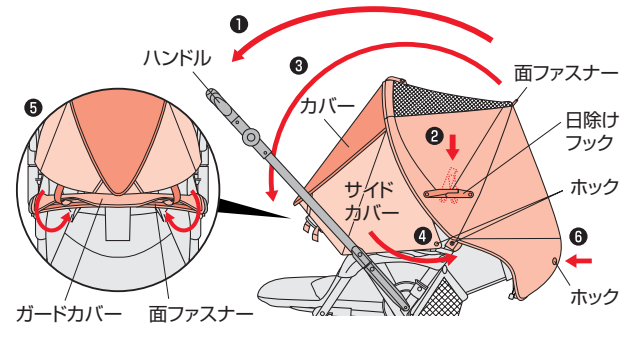


- ①日除けを前方に開きます。
- ②日除けフックを押し下げてロックします。



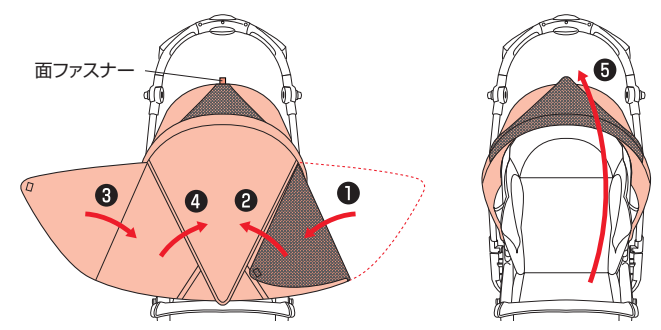
- ①日除け前部のホックを外します。
- ②カバーをめくります。

おりがみDX 〈採用機種のみ〉



- ①ハンドルを対面にします。
- ②日除けフックを押し下げてロックします。
- ③日除け後部の面ファスナーを外し、カバーを開きます。
- ④サイドカバー部を左右に開き、日除け取り付け部のホック(左右)にとめます。
- ⑤ガードカバー両端部分を外し、内側の面ファスナーにとめます。
- ⑥リクライニングを倒した時は、日除け後部のホックをシートのホックにとめます。

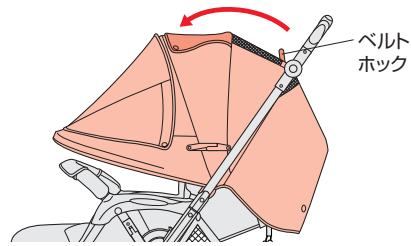
<p>ウィンドウカバーで前面を閉じた状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ウィンドウカバーを下に閉じてメッシュ部中央の面ファスナーにとめます。 	<p>ウィンドウカバーで天面を閉じた状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ウィンドウカバーを上を開いて日除け天面の面ファスナーにとめます。 	<p>前面・天面の両面を開いた状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ウィンドウカバーを中央に巻き付けて日除け中央のホックをとめます。
<p>サイドカバーで前面・側面を閉じた状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サイドカバーを閉じてメッシュ部の面ファスナーにとめます。 	<p>サイドカバーで側面を開けた状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サイドカバーの側面を開いてサイドカバー前部の面ファスナーにとめます。 	<p>サイドカバーで前面を開けた状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サイドカバーの前面を開いてサイドカバー側部の面ファスナーに折り曲げてとめます。



- 〈カバーを収納する時〉
- ウィンドウカバーを閉じた状態で左右のサイドカバー部を折りたたみ、ウィンドウカバーの面ファスナーを日除け後部の面ファスナーにとめます。

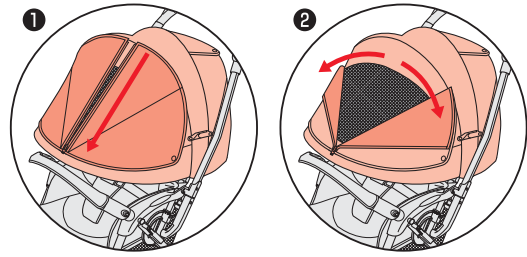
おりがみHiDX <採用機種のみ>

チャオ² ウィンドウ



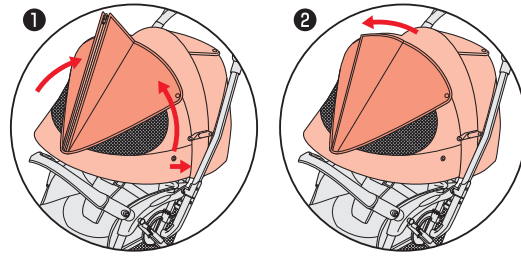
- 日除け天面のベルトホックを外し、カバーをめくりホックをとめます。

前面の中央を開いた状態



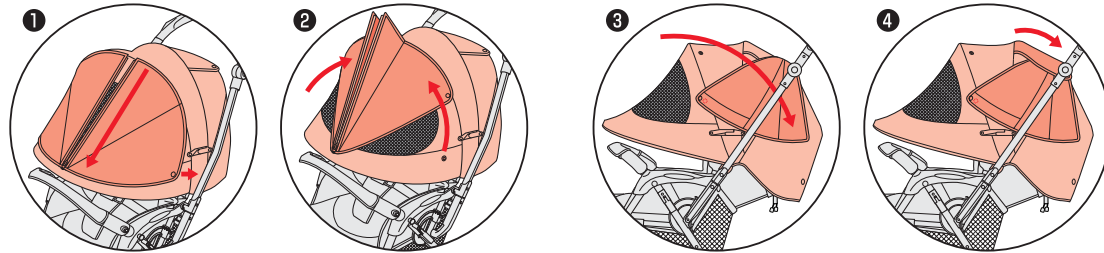
- 1 ファスナーを開きます。
- 2 カバーを左右にひろげます。

側面を開いた状態



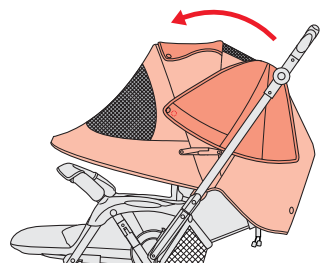
- 1 ホックを外し、カバーを中央に持ち上げてスライドさせます。
- 2 ファスナー部分を片側にたおします。

前面をすべてを開いた状態



- 1 ファスナーを開き、ホックを外します。
- 2 カバーを中央に持ち上げてスライドさせます。
- 3 カバーを日除け上部にスライドさせます。
- 4 日除け天面カバーをめくりホックにとめます。

前面・天面を開いた状態

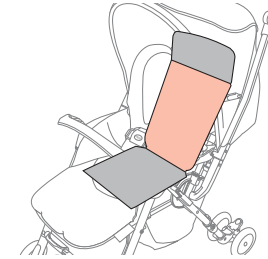


- 日除け天面のベルトホックを外し、カバーをめくりホックをとめます。

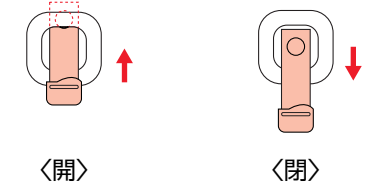
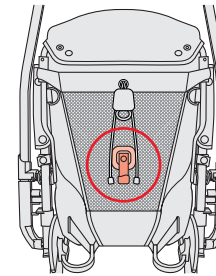
サーモメディカルシステムについて

ベンチレーションの使い方

<背面ベンチレーションタイプ>

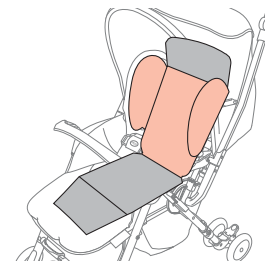


- ・背面の通気が調節できます。



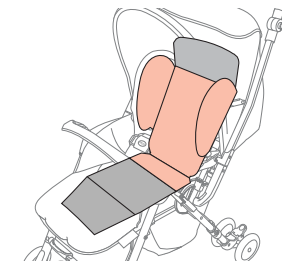
- 外の温度や湿度にあわせてベンチレーションノブを上下させてシートの通気を調節します。

<背面・側面ベンチレーションタイプ>

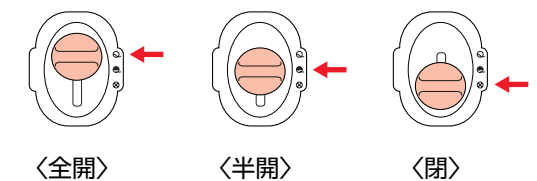
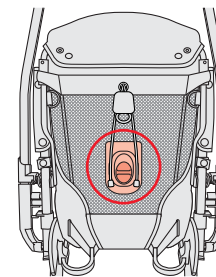


- ・背面と側面の通気が調節できます。

<背面・側面・座面ベンチレーションタイプ>

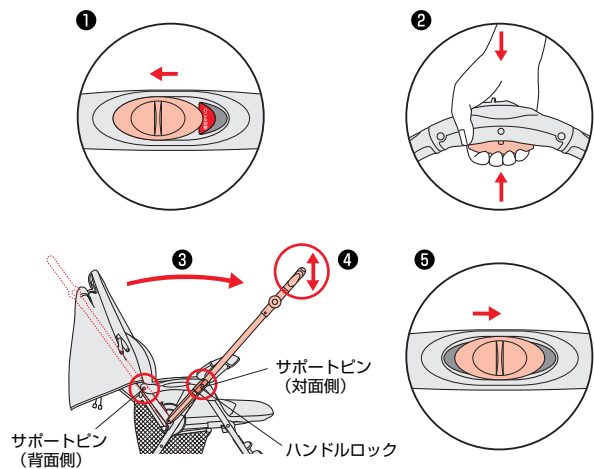


- ・背面と側面と座面の通気が調節できます。



- 外の温度や湿度にあわせてベンチレーションノブを上下させてシートの通気を3段階に調節します。

ハンドルの切替え方



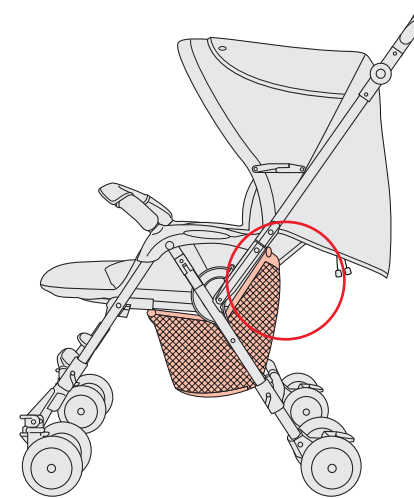
- ①セーフティロックを解除します。
- ②ハンドルレバーを握って押し込み、ロックを解除します。
- ③ハンドルを背面から対面へ切替え、ハンドルロックをサポートピンに掛けます。
- ④ハンドルを上下に動かし、ハンドルロックがサポートピンから外れないことを確認します。
- ⑤セーフティロックを中央位置に戻します。

※対面から背面へ切替える時も同様の手順で行います。
 ※ハンドルを切替えるとキャスターのロック方向が変わります。(→P8を参照してください。)

注意

- ・ハンドル切替えの時は、お子さまの手や指を挟まないように注意する。
- ・走行中はハンドルを切替えない。
- ・ハンドルが確実にロックされたか、使用前にハンドルを上下に動かし、必ず確認する。
- ・ハンドル切替え、開閉操作以外の時は、セーフティロックを中央位置に戻す。

カゴの使い方

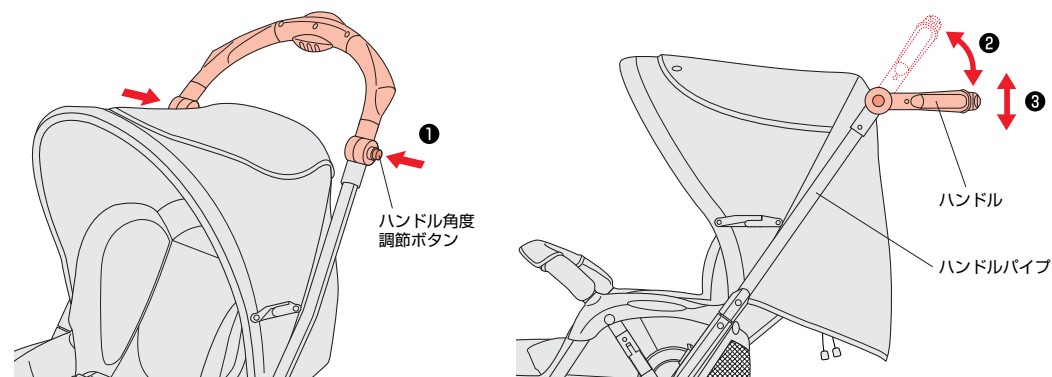


●カゴの上部を手前に引き、荷物の出し入れをします。

注意

- ・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。
- ・標準カゴは重量2.5kg以上、大型カゴは重量5kg以上の荷物を入れない。

ハンドルの角度調節

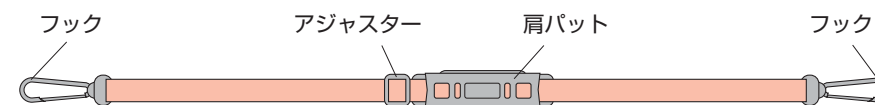


- ①両手の指で左右のハンドル角度調節ボタンを押します。
- ②押した状態で、ハンドルを押しやすい角度に移動します。
- ③指を離してハンドルを上下してロックされたことを確かめてください。

注意

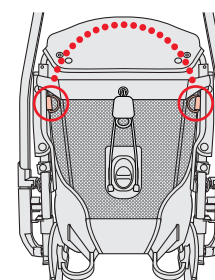
- ・走行中は角度調節の操作をしないこと。
- ・ハンドルが確実にロックされたか、使用前にハンドルを上下に動かし、必ず確認する。
- ・ハンドルに大きな力や、衝撃を与えないでください。
- ・ベビーカーを折りたたむ前に、ハンドルをハンドルパイプと一直線の状態にしてください。

ショルダーストラップの使い方

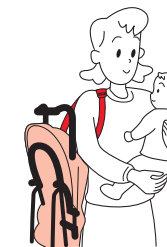


ショルダーストラップ

- ・車体にショルダーストラップを取り付けることにより、折りたたんだ時に、肩にさげて持ち運ぶことができます。
- ・アジャスターで長さが調節できます。



●両端のフックを車体の取り付け部にとめます。



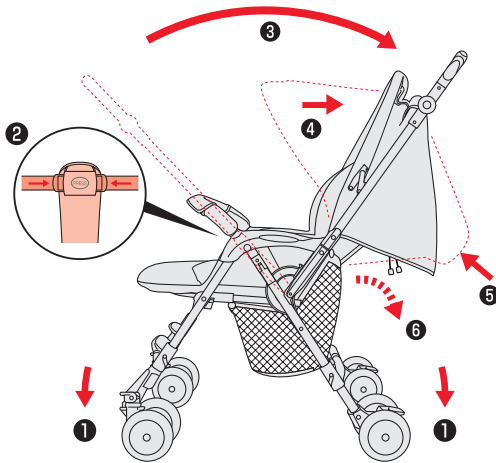
注意

- ・車体に付着している油・泥・砂を拭き取ってからお使いください。(衣類に付着するおそれがあります。)

ベビーカーを折りたたむ時

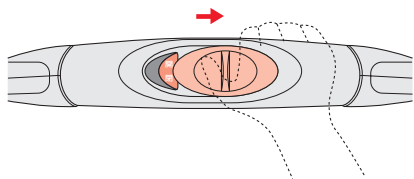
ベビーカーの折りたたみ方

折りたたむ前に

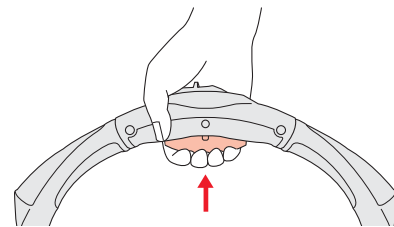


- ①左右の前・後輪キャスターを後ろ側にロックします。
- ②腰ベルトを股ベルトのバックルに差し込みます。
- ③ハンドルを対面へ切替えてある場合は背面に戻します。
- ④日除けをたたみます。
- ⑤リクライニングを起こします。
- ⑥カゴから荷物を取り出します。

1 ロックの解除

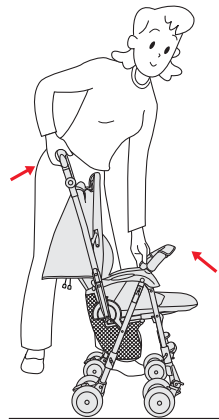


- ①セーフティロックを解除します。

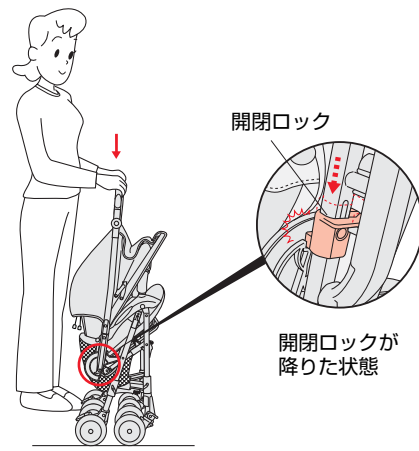


- ②ハンドルレバーを握って押し込み、ロックを解除します。

2 A 両手で折りたたむ場合

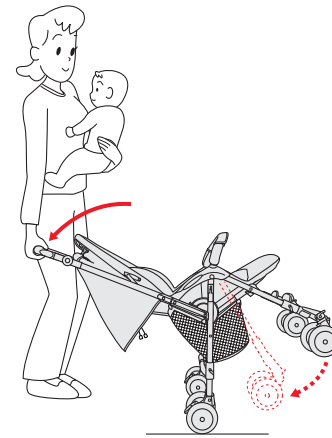


- ①ハンドルレバーを握ったまま、もう一方の手でフロントガードをつかみ引きよせます。

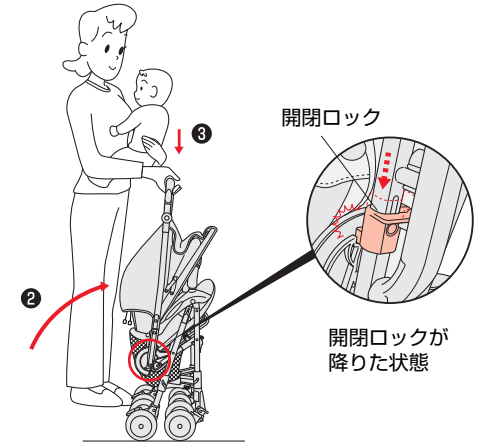


- ②ハンドルレバーを離し、両手でハンドルを持ち下に押しつけてロックします。

2 B 片手で折りたたむ場合 (I)

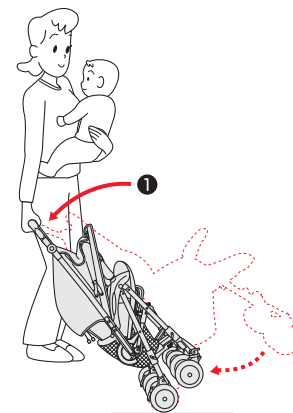


- ①ハンドルレバーを握ったまま車体を後ろに傾け、車体を折りたたみます。

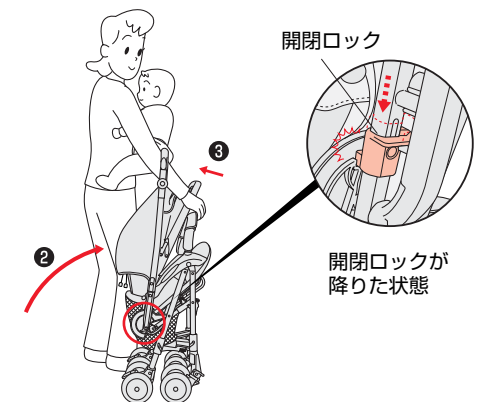


- ②車体を起こし、ハンドルレバーから手を離します。
- ③ハンドルを下に押しつけてロックします。

2 B 片手で折りたたむ場合 (II)

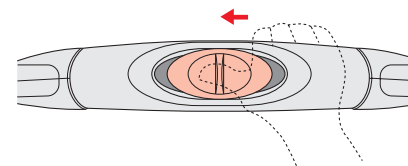


- ①ハンドルレバーを握ったまま、車体を後ろに傾けます。



- ②車体を起こし、ハンドルレバーから手を離します。
- ③ハンドルと日除けの間に手を入れ、フロントガードを手前に引き寄せる。

3 セーフティロックをかける



- セーフティロックを中央位置に戻します。

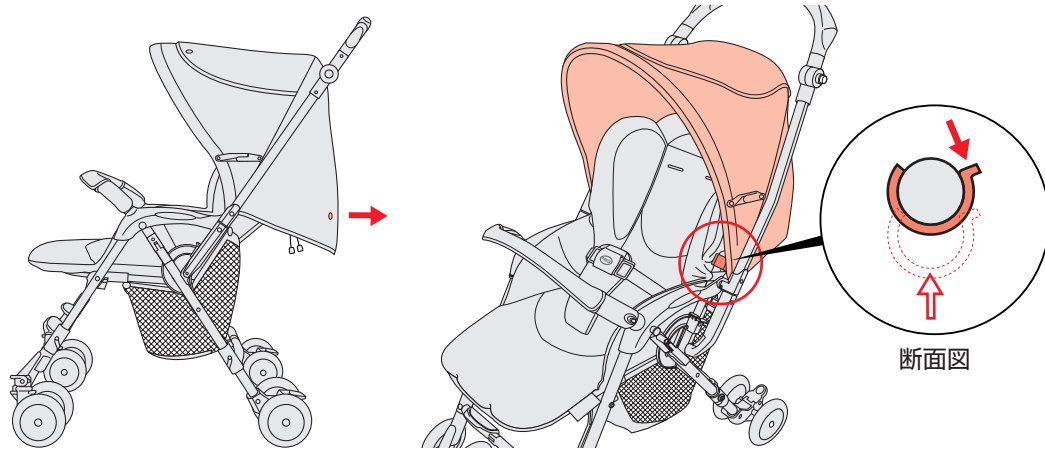
お願い

・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

縫製品のお手入れ

- ・縫製品が汚れた場合は、取り外して洗浄してください。
- ・縫製品は消耗品です。破れ、すり切れ、ほつれなどがある場合は、お買い求めの販売店又は、当社サービス係までお問い合わせの上、交換してください。(有償)

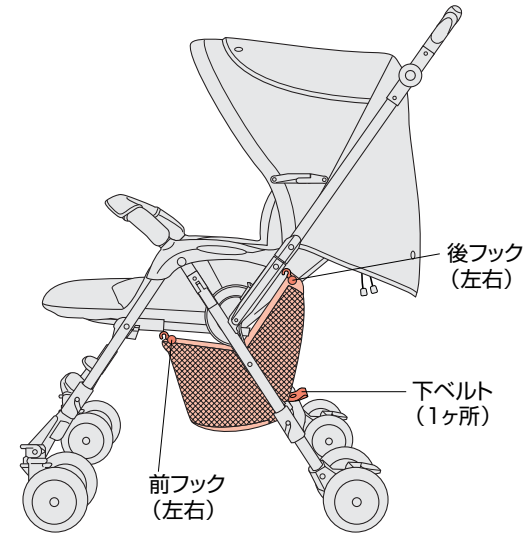
日除けの取り外し方



①日除け後部のフックを外します。
(2カ所)

②→の部分を手前に引きます。(左右)
※取り付けの際は→の部分を押込みます。

カゴの取り外し方

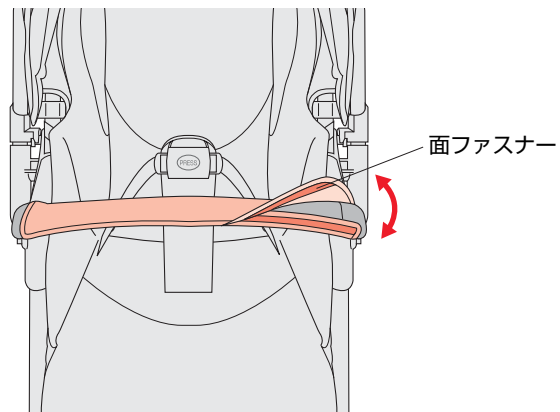


●前後のフックと下ベルトを外して、カゴを取り外します。

⚠注意

・カゴに荷物を入れたまま取り外さない。

フロントガードカバーの取り外し方



●フロントガードカバーの面ファスナーを外します。

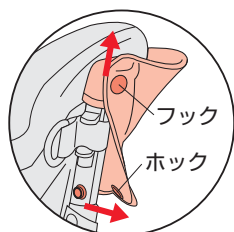
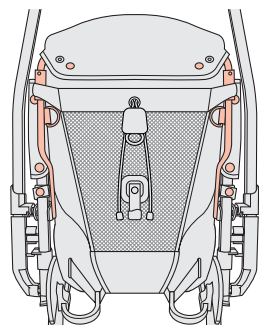
- ・縫製品が汚れた場合は、取り外して洗浄してください。
- ・縫製品は消耗品です。破れ、すり切れ、ほつれなどがある場合は、お買い求めの販売店又は、当社サービス係までお問い合わせの上、交換してください。(有償)

縫製品の取り外し方〈背面ベンチレーションタイプ〉

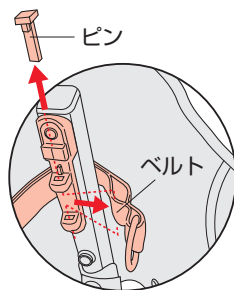
シート、股ベルト、シート芯材の取り外し方

・日除け、カゴを取り外してから行ってください。(→P23、P24を参照してください。)

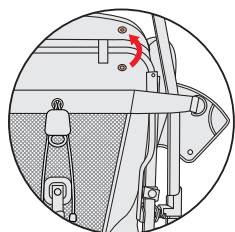
1 車体の後ろから



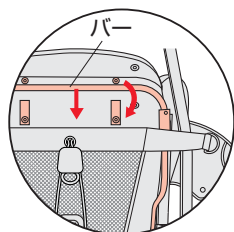
①フックを外してフックを上にはきます。



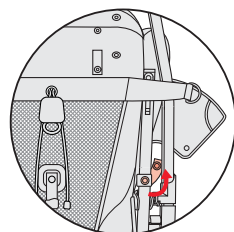
②ピン、ベルトを外します。



③シート上部のフックを外します。

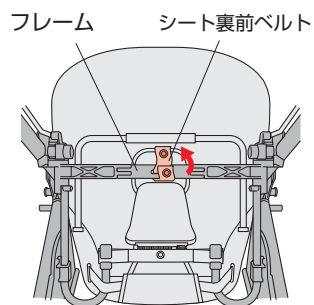


④バーをとめているベルトのフックを外してバーを下げます。

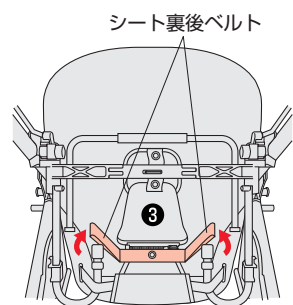


⑤フレームからフックを外します。

2 座面の裏側から

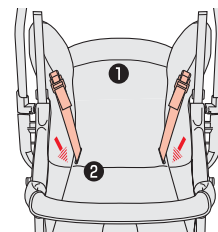


①シート裏前ベルトのフックを外し、フレームから抜きます。

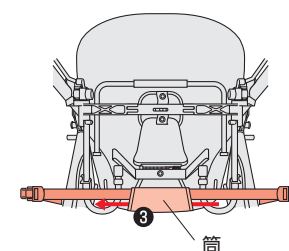


②車体を少し折りたたみます。
③シート裏後ベルトを外します。

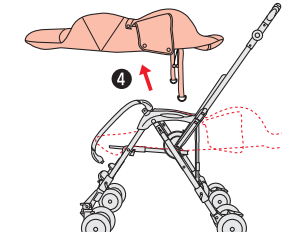
3 シートを外す



①車体を開きます。
②腰ベルトをシート裏側に抜きます。

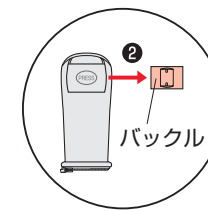
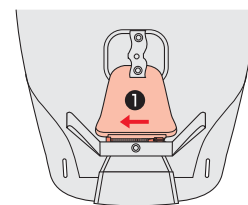


③腰ベルトをシート裏の筒から抜き取ります。



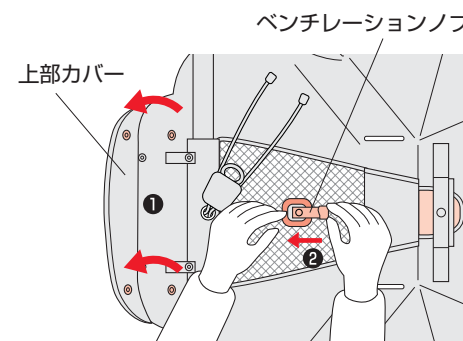
④シートを取り外します。

4 股ベルトを外す

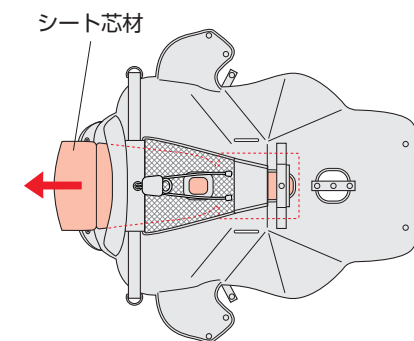


①シート裏側のファスナーを外して、股ベルトを抜き取ります。
②バックルのフックを外し、股ベルトから外します。

5 シート芯材を抜き取る



①シート裏側の上部カバーのフックを外します。
②ベンチレーションノブをシートの内側に入れ込みます。



③シート芯材を抜き取ります。

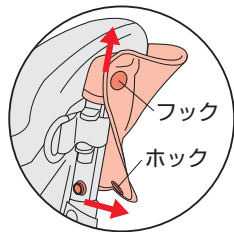
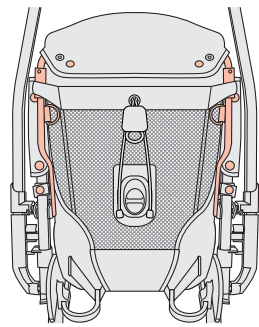
- ・縫製品が汚れた場合は、取り外して洗浄してください。
- ・縫製品は消耗品です。破れ、すり切れ、ほつれなどがある場合は、お買い求めの販売店又は、当社サービス係までお問い合わせの上、交換してください。(有償)

縫製品の取り外し方 <背面・側面/背面・側面・座面ベンチレーションタイプ>

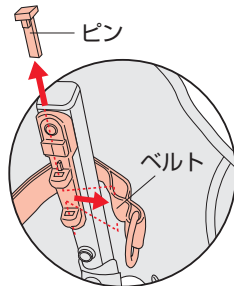
シート、股ベルト、シート芯材の取り外し方

・日除け、カゴを取り外してから行ってください。(→P23、P24を参照してください。)

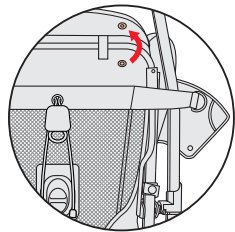
1 車体の後ろから



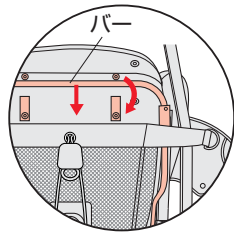
①フックを外してフックを上にはきます。



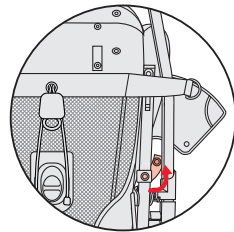
②ピン、ベルトを外します。



③シート上部のフックを外します。

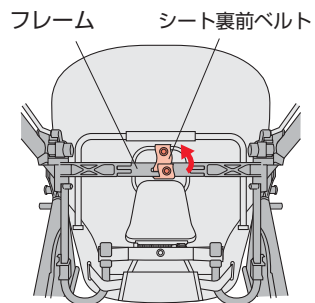


④バーをとめているベルトのフックを外してバーを下げます。

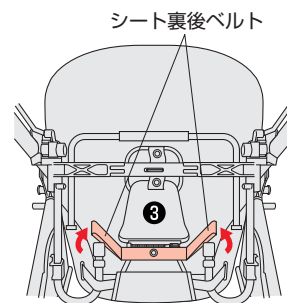


⑤フレームからフックを外します。

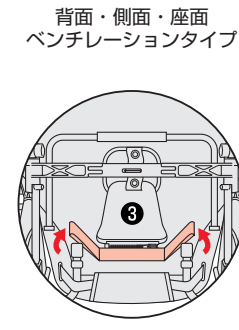
2 座面の裏側から



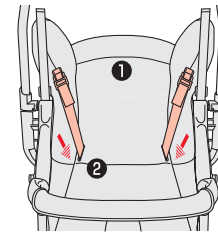
①シート裏前ベルトのフックを外し、フレームから抜きます。



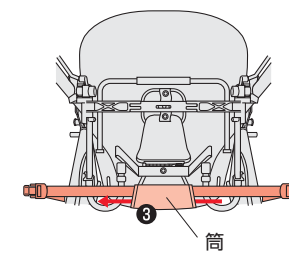
②車体を少し折りたたみます。
③シート裏後ベルトを外します。



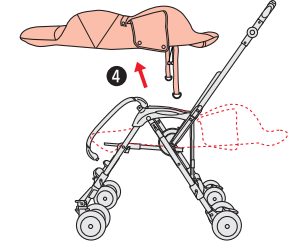
3 シートを外す



①車体を開きます。
②腰ベルトをシート裏側に抜きます。

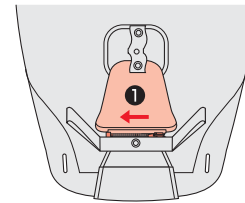


③腰ベルトをシート裏の筒から抜き取ります。

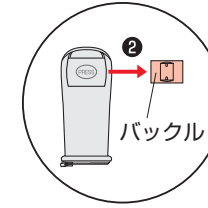


④シートを取り外します。

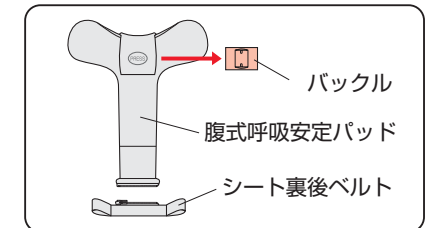
4 股ベルトを外す



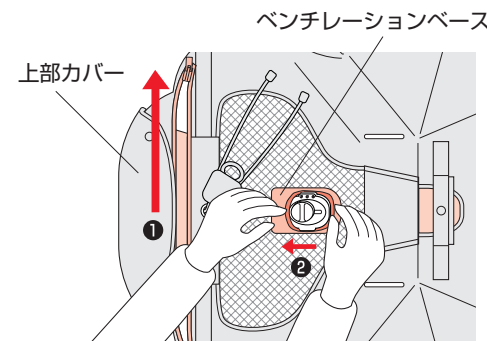
①シート裏側のファスナーを外して、股ベルトを抜き取ります。
②バックルのフックを外し、股ベルトから外します。



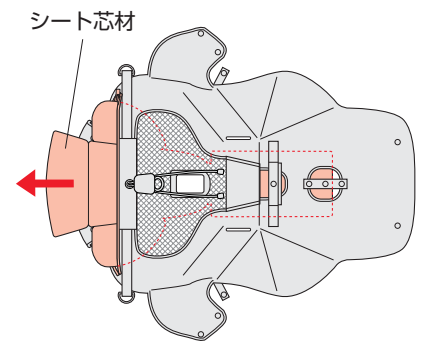
<採用機種のみ>



5 シート芯材を抜き取る



①シート裏側の上部カバーのファスナーを外します。
②ベンチレーションベースにはめ込まれている部分を引き出し、内側に押し込みます。



③シート芯材を抜き取ります。

縫製品の洗浄方法

シート、フロントガードカバー、立体成長股ベルト、腰ベルト、気道閉塞マモールパッド、背中快適さらっとシート、腰・首やわらかパッド、腹式呼吸安定パッドの洗浄について

・以下の点に注意して洗濯してください。



液温は、30℃を限度とし、弱い手洗い(押し洗い)にしてください。
(洗たく機は使用できません。)



塩素漂白剤は、使用しないでください。



アイロン掛けは、しないでください。



ドライクリーニングは、しないでください。



洗たく後、絞らないでください。



干し方は、日陰の平干しにしてください。

日除け、肩ベルト、カゴ、ショルダーストラップの洗浄について

・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合、40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を十分に洗います。その後、乾いたタオルなどで十分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合、中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで十分に水分を取って、日陰で乾燥させます。



- ・シート芯材は洗濯しない。
- ・縫製品を屋外で干すときは、日陰の平干しにする。

車体のお手入れ

車体のお手入れ方法

フレームや車輪のお手入れについて

・フレームや車輪についた泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。



- ・フレームや車輪に泥やホコリが付いたままで使用しない。
(故障の原因となります。)
- ・泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しない。

※車輪は消耗品です。タイヤの厚みが5mm程度にまで減った時はお買い求めの販売店又は、当社サービス係までお問い合わせの上、交換してください。(有償)

ネジ、ナット類について

・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合はしめなおしてください。



- ・破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず当社サービス員の点検、修理を受ける。

注油について

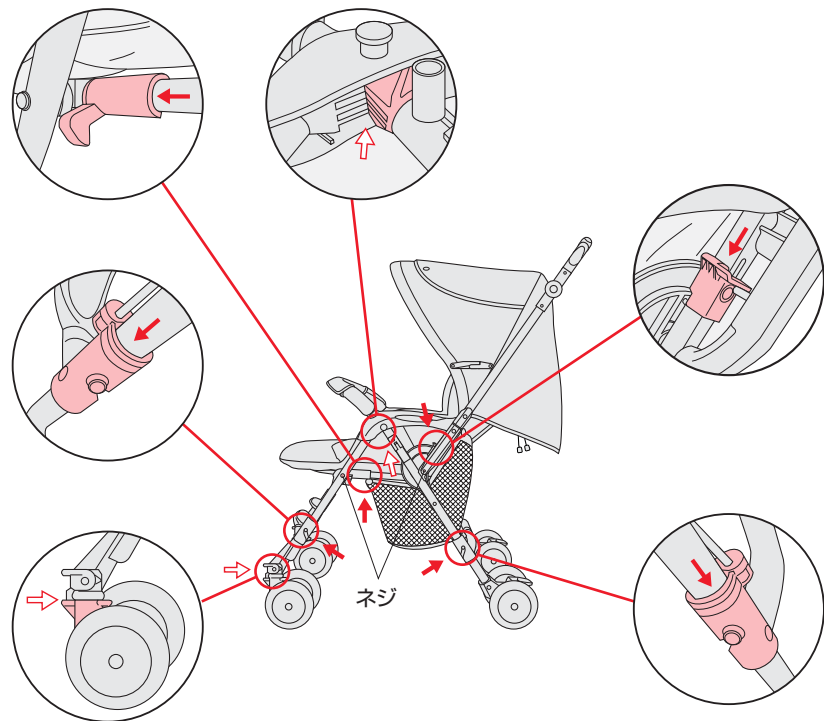
・注油の前には、泥やほこりを落とし、十分に水分を拭き取ってください。
・注油は、1ヶ所につき2~3滴としてください。



- ・フロントガードとアームレストの接続部付近及び内部には、シリコンオイルや潤滑油などを付着させない。フロントガードが外れ、お子さまが危険になるおそれがあります。



- 車体を折りたたんだり、開くのがスムーズにいかない場合は、付属のシリコンオイルを図の → の箇所にさし、開閉操作を2～3回行います。
 - キャスターがスムーズに回転しなかったり、車輪や車体がきしむ場合は、市販の潤滑油を図の ⇨ の箇所にさします。
- ※フロントガードとアームレストの接続部付近及び内部には、シリコンオイルや潤滑油などが付着しないようにしてください。



シリコンオイルの取り扱い上の注意

- ・可燃性のため、火気に注意してください。
- ・使用時には、直接皮膚につかないようご注意ください。
- ・皮膚に付着した場合には、乾いた布で拭き取った後、石鹸水でよく洗ってください。
- ・万一、眼に入った場合には、流水で15分以上洗浄し、刺激感が残るようであれば医師の診断を受けてください。
- ・万一、飲み込んだ場合には、口の中に残ったものを取り除き、ただちに医師の診断を受けてください。
- ・密閉した状態で冷暗所にて保管してください。
- ・お子さまの手の届かないところに保管してください。

点検とアフターサービスについて

- ・ネジ類のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。
- ・危険ですからむやみに改造や分解はしないでください。
- ・お手入れの際に取り外した商品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取り外したままですとお子さまが危険です。
- ・本製品の修理及び部品販売の際は、同種部品がない場合があります、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上はさしつかえありません。
- ・ご使用中に万一故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換又は修理の必要が生じた場合、及び、その他異常を感じた場合は、使用を中止してお買い求めの販売店又は、当社サービス係までご連絡ください。

〈アフターサービスについての連絡先〉

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0221 奈良県奈良市都祁白石町1397-1

アップリカ 奈良サービスセンター ☎ (0743) 84-2050

保管のしかた

- ・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
- ・夏季の高温になる場所での保管は避けてください。
- ・荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

廃棄方法

- ・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
（地球環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。）



SGマークが表示されたベビーカーは安心してお使いいただけます。

SGマークが表示されたベビーカーは安心してお使いになれますが、消費者の皆さまが正常に使用していた時、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償致します。但しご購入後3年以内です。

賠償についてのご注意

- ・認定したベビーカーそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- ・生産物賠償責任保険の保険金は、それぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

賠償金の請求について

- ・傷害を被った消費者（お子さまなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求する時は、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定する処に届けて下さい。

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3303

事故賠償に必要な項目

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ) 製品の名前、SGマーク番号 ロ) 製品の購入先、購入年月
- ②事故発生の状況
イ) 事故発生年月日 ロ) 事故発生場所 ハ) 事故発生状況
- ③被害の状況
イ) 被害者の氏名、年令、性別、職業、住所 ロ) 被害の状況と程度（医師の証明書）